

愛知県指定管理者等選定委員会選定結果

局名	公募施設名	応募者数	選定結果(順位及び総合評点)		
			1位(指定管理者候補者)	2位	
環境局	愛知県弥富野鳥園	1者	公益財団法人愛知公園協会 (88.9点)	<選定理由> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野鳥園及びその他県有施設に関して豊富な管理運営実績を有しており、これらを通じて培われたノウハウを活かした施設老朽化への対応や安定的な経営が今後も期待できる。 ・ 野鳥に関する知識を有する獣医師や野鳥関連業務に精通したスタッフを十分に確保している。また、県内唯一の傷病鳥保護センターであるという野鳥園の役割を自覚し、鳥類保護思想等について県民に普及啓発する意義についても理解していることから、野鳥関連業務について、的確に実施する能力があると評価できる。 ・ 新規事業の取組については、これからの課題として残るところではあるが、遠足、総合的学習などの団体利用の促進や新型コロナウイルス対策をした上での利用者満足度の高かったイベントの実施を継続することとしており、今後も施設の利用促進や利用者満足度アップが期待できる。 	—
福祉局	愛知県児童総合センター	1者	公益財団法人愛知公園協会 (86.4点)	<選定理由> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内児童館の中核施設として時代の変化に即した児童健全育成の実現を目指し、「体験・育成」、「開発・調査」、「養成・研修」、「普及・啓発」の基本的な4つの機能を軸に統合的かつ効率的に管理運営を行うという方針が示されており、また、児童の健全育成という施設の設置目的に沿った遊びの指導など、多様で具体性のある取組を行う提案がなされている点で評価ができる。 ・ 人員配置については、児童厚生員を手厚く配置し、職員の資質向上のための研修にも積極的である。また、事故や災害に加えて感染症も想定した訓練や研修を行う提案となっており、より適正な運営が見込まれる点で評価できる。 ・ 目標入場者数は平成27年度から平成30年度までの平均入場者数として設定されているが、現状の利用促進策に加え、新たに名古屋市内の小学校へのPRや0歳児、未就園児へのアプローチ、大学の研究室や地元アーティストと連携して「あそび」を共同開発するなど様々な活性化策を実施する提案となっており、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で利用者数を増加させていく姿勢が評価できる。 	—
労働局	愛知勤労身体障害者体育館	2者	社会福祉法人祖父江愛照会 (84.1点)	<選定理由> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労身体障害者の利用件数の目標を全体の半数以上とするなど当施設の設置目的を十分認識し、スポーツ大会やスポーツ教室の開催を通じた施設の周知により、より多くの勤労身体障害者の利用拡大に努めていること、また、社会福祉事業の実績が豊富で、地域の障害者施設に貢献する取組や地域との連携強化に資する取組がなされていることなどが評価できる。 ・ 申請のあった2者のうち、最低の指定管理料の提案額となっており、法人本部と契約を一元化することにより、建物の保守点検や光熱水費等を縮減し、効率的な運営が期待できる。 ・ 配置する正規職員3名及びパート1名全員について、障害者スポーツ指導員の資格取得者とする充実した人員体制を予定しており、「勤労身体障害者のための体育施設」という施設の設置目的に沿った適正な管理運営が期待できる。 	B団体 (76.7点)

局名	公募施設名	応募者数	選定結果(順位及び総合評点)		
			1位(指定管理者候補者)	2位	
農林基盤局	愛知県民の森	1者	公益財団法人愛知公園協会 (84.3点)	<選定理由> <ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズ等を参考に、利用率向上のため、好評イベントの継続のほか、新たな取組として「オートキャンプ場の区画増設」や「森のコンサート」の実施など、施設の設置目的を理解し、魅力を活かした提案となっており、評価できる。 現在実施している好評イベントの継続、他施設での好評イベントの導入、利用者要望を踏まえた新規イベントの実施に加え、多様なメディアを活用したPR活動が提案されており、目標値の具現化・実現性を示すものとして評価できる。 他の公の施設の指定管理業務の実績があることから、現行の体制・人員配置を維持した上で、マルチスタッフ育成の研修のほかジョブローテーションによる能力向上を図る提案の実現性は高く、適正かつ確実な管理運営がなされることが期待できる。 	—
	愛知県緑化センター・愛知県昭和の森	1者	公益財団法人愛知公園協会 一般社団法人愛知県緑化センター協力会 共同体 (84.8点)	<選定理由> <ul style="list-style-type: none"> 愛知県緑化センター及び愛知県昭和の森の異なる2施設それぞれの目的に即した事業内容が提案され、施設設置目的の効果的な達成が期待できる。 利用促進策については、「PRの強化」及び「満足度の向上」を重視し、各種メディアへの情報提供や広報・雑誌掲載、地元交流イベントの継続や利用者要望を踏まえた新規イベント開催等、具体的で実施可能な提案となっており、評価できる。 地元団体との共同体の構成等により、地元の森林環境や樹木の生育状況を熟知したスタッフを配置することで、樹木等管理の確実な遂行が期待できる。 他の公の施設の指定管理業務が豊富である点や、人的能力については、現行の体制・人員配置を維持するとともに、業務に必要な資格や経験を有した職員の配置、人材育成の各種研修も計画されており、適正かつ確実な管理運営が期待できる。 	—